

平成19年度 メタボリックシンドローム予防専門研修実施要領

- 1 目的 住民一人ひとりが健やかに安心して暮らせる活力ある社会を築くためには、単に病気の早期発見や利用にとどまるのではなく、健康を増進し、発病を予防する一次予防が重要です。
また、平成20年度からはじまる医療制度改革においては、特に生活習慣病予防の充実・強化を図るため、糖尿病等の生活習慣病有病者および予備群を25%減らすことを目標に、医療保険者に「特定健診・特定保健指導」の実施が義務付けられました。
このような状況をふまえ、保健事業に従事者する専門職が糖尿病とメタボリックシンドロームについての知識を身につけ、適切な判断と分析により栄養・運動の両面から対象者の行動変容につながる保健指導が展開できる人材の養成を目的とします。
- 2 実施主体 滋賀県
実施機関 財団法人滋賀県健康づくり財団
- 3 研修期間 平成19年8月26日(日)から平成19年12月までの14日間
- 4 研修場所 別紙参照
- 5 対象者 県内に在住または県内の行政機関・産業保健分野・地域保健分野・スポーツ施設等で勤務をされている健康運動・スポーツ関連の資格保有者(健康運動指導士・健康運動実践指導者・ヘルスケアトレーナー・公認スポーツトレーナー等)・管理栄養士・栄養士・保健師・看護師等
- 6 研修内容 別紙参照
- 7 修了証 研修修了者には修了証を交付します。
*研修修了者で、健康づくり指導者バンク登録者には、バンクの利用者からの要請をすみやかにお知らせします。
- 8 参加費 無料
- 9 申込方法 (1)受講申込書(様式1)に必要事項を記入の上、8月17日(金)までに申し込みください。
(2)申込および問い合わせ先
財団法人 滋賀県健康づくり財団 健康づくり推進部
「メタボリックシンドローム予防専門研修」担当宛
〒520-0801 大津市におの浜4-4-5
TEL 077-525-2733 FAX 077-521-0471
- 10 その他 *この研修は厚生労働省健康局の定める健診・保健指導の研修ガイドラインに基づく内容を満たした研修会です。

*この研修は、健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位が認められる講習会としての認定を受けるため申請中です。

メタボリックシンドローム予防専門研修プログラム

月	日時	9:30~11:00	11:00~12:30	13:30~15:00	15:00~16:30
8月	1	26日(日) 10:30~ 開校式 オリエンテーション	健康づくりの現状と施策の動向 (特定健診・保健指導の理念) 講師:滋賀県健康推進課課長 寺尾 敦史氏	健康づくりのための運動指針2006 講師:国立健康・栄養研究所 健康プログラムリーダー 田畑 泉氏	
	会場	コミュニティセンターやす			
9月	2	糖尿病とメタボリックシンドローム 講師:滋賀医科大学 代謝・内分泌内科 教授 柏木 厚典氏		健診結果と身体変化・生活習慣の関連 講師:大津赤十字病院 副院長 岡本 元純氏	たばこアルコール 講師:滋賀医科大学社会医学講座 助教 門脇 崇 氏
	会場	滋賀医科大学 臨床講義室2			
9月	3	歯科保健ついて 講師:滋賀県大津健康福祉センター 課長 井下 英二氏	保健指導対象者の選定と階層化 標準的な保健指導 講師:結核予防会 第一相談所 所長 岡山 明氏	演習(ロールプレイ)「健診の結果返し・情報提供と動機づけ支援」 講師:結核予防会 第一相談所 所長 岡山 明氏	
	会場	滋賀医科大学 看護学科 第4講義室			
9月	4	栄養の基礎知識	メタボリックシンドローム予防のための食事指導	糖尿病の食事指導	食事調査方法と評価の仕方
	会場				
9月	5	食習慣を理想に近づけるための工夫～食事バランスガイドの活用法 食生活改善(減量)プログラムの作成		演習(グループワーク)「食事指導の注意とコツ」	
	会場				
10月	6	体の仕組みと運動①	ストレッチの理論	ストレッチの実技・指導法	
	会場				
10月	7	体の仕組みと運動②	ウォーキングの理論	ウォーキングの実技・指導法	
	会場				
10月	8	体力の評価	自重負荷の筋トレ理論	自重負荷の筋トレ実技・指導法	
	会場				
10月	9	運動による整形外科的障害と予防	運動障害の救急処置	メディカルチェックの基礎	
	会場				
10月	10	運動プログラム作成法		演習(事例検討)「運動プログラム作成演習」	
	会場				
10月	11	行動変容に関する基本的知識・技術	行動変容ステージに応じた保健指導	自己効力感の高め方 自己効力感の高まりを期待する集団的支援	生活改善につなげるためのアセスメント・行動計画
	会場				
10月	12	面接技法コミュニケーション技術		面接技法コーチング	
	会場				
10月	13	食習慣改善(減量)体験から 保健指導の評価と保健指導の改善		演習(事例検討)「行動変容を継続しているケースから動機付け、継続支援の要因を学ぶ」	
	会場				
10月	14	演習(パネルディスカッション)「具体的事例からのアセスメントと総合プログラムの作成」		学習教材の選定と開発	修了式
	会場				

* 講師、会場の未記載の講演については調整中です

多発性リウマチ症予防専門研修(第1回目)のご案内

開 催 日：平成 19 年 8 月 26 日(日)

内容および時間：10：00～

受 付

10：30～11：00 開校式・オリエンテーション

11：00～12：30 「健康づくりの現状と施策の動向」

(特定健診・特定保健指導の理念)

講師：滋賀県健康福祉部健康推進課

課長 寺尾 敦史氏

12：30～13：30 昼 食

13：30～16：30 「健康づくりのための運動指針 2006」

講師：独立行政法人 国立健康・栄養研究所

健康増進プログラムリーダー 田畑 泉氏

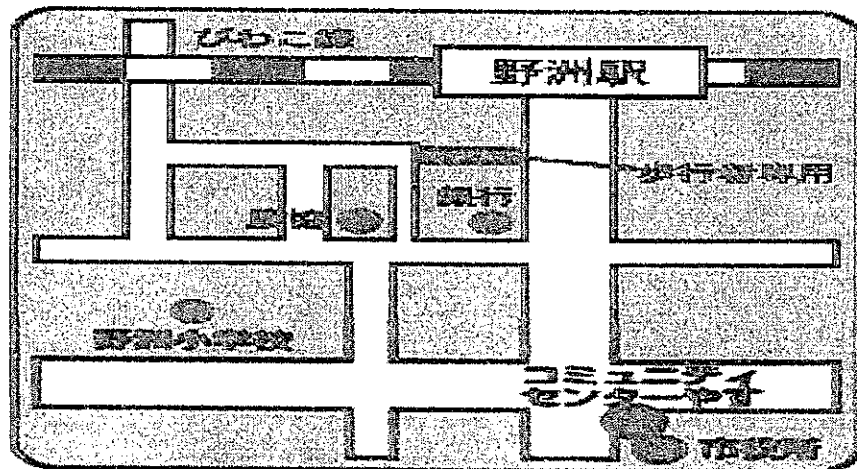
場

所：コミュニティーセンターやす

(野洲市小篠原 2100 番地 1)

* JR 野洲駅下車徒歩 5 分

Tel: 0 7 7 - 5 8 6 - 3 8 6 4



様式1

平成19年度メタボリックシンドローム予防専門研修参加申込書

ふりがな 氏名		性別	男・女
住所	〒 ー (Tel) (E-mail)		
勤務先	勤務先名： 〒 ー (Tel) (E-mail)		
連絡先	自宅・勤務先		
資格・免許等	登録番号	経験・実務年数	
健康運動指導士			
健康運動実践指導者			
健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録 更新に係る認定講習会受講証明書交付の要否	要・否		

* 昨年度当研修を受講された方は、同一内容の研修受講では単位が認定されませんので、ご了承ください。

財団法人滋賀県健康づくり財団
〒520-0801
大津市におの浜4丁目4番5号
TEL 077(525)2733
FAX 077(521)0471